

通信業における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11～12	配達作業中、配達先へ配達を終え、バイクに戻ろうと凍結している砂利道を歩いていた所、左足を滑らせ地面の凹凸に引っかけて捻り、転倒して左足首を負傷した。	40～999	500～999
1	20～21	休憩時間中に女子ロッカーにて、すのこ板につまずき転倒し両手と両膝に軽い痛みがり内出血を負った	51～999	500～999
1	11～12	配達物の区分作業に従事していて、両手で配達物を抱えた状態で、押印机から区分棚へ移動中に、ケースカートに足がつまずき、体勢を崩して、区分棚の角に背中を強打し怪我をした。	60～999	500～999
1	14～15	配達中、配達先の駐車場でポスト投函し、その家の駐車場を手に持っている配達物を見ながら次の配達先を確認し歩いた。駐車場の真ん中の芝生を歩いたとき、芝生に段差があり左足をつき、足首をひねってしまった。	57～999	50～999
1	18～19	配達をしようと、配達先の家の前にバイクを止め、玄関先まで行こうと、敷地前方に張ってあるロープを跨いだ際に、右足を引っ掛けバランスを崩し、先に着地していた左足を捻って転倒し負傷した。	41～999	100～299
1	18～19	敷地内でゴミ箱を両手に抱えて、駐車場に向かって歩き始めたところ、足元の門の止め金に気付かず、右足でつまずき前のめりに転倒した。	64～999	300～499
2	16～17	配達作業中、バイクを降り配達先へ歩行中、手元の配達物を確認しながら歩いていたところ、玄関前の砂利に足をとられ、右足首を挫いてしまい負傷した。	33～999	500～999

				999
2	10~11	自動二輪車で配達中、自動二輪車を降りて配達先へ向かう途中、当時吹雪いており、凍結路面の上に新雪が1~2cm積もっていた。前夜強い雨が降り、当日の朝、凍結していた事は本人も把握していた為、自動二輪車を滑らない所に停めた。自動二輪車を降りて2~3歩歩いたところ凍結していなかった為、配達物が飛ばされないよう、小走りした際、凍結している所で転倒し、負傷したものである。	44	300 ~ 499
2	12~13	配達先のマンションで配達を終えて階段を下っている時地面に足を着いた際に右足首を外側へひねってしまい右足甲を剥離骨折した。	42	300 ~ 499
2	15~16	配達途中でバイクを止めアパート2階への配達終了後、階段を下り、小走りでバイクに戻る途中で石につまずき勢いよく転倒した際に両足膝、頭を強打した。	35	300 ~ 499
2	10~11	マンションのお客様宅に配達に伺ったが不在だったためそのまま箱を両手で持ちながら四輪車に戻ろうとしたところマンションの敷地内（タイル貼り）の部分（屋外）を歩いている際、雨で足元が濡れていたため足を滑らせ後ろ側へ転倒し背中を強打した。	40	500 ~ 999
3	20~21	配達のため配達先アパート2階通路を歩行中、配達先隣家の犬の鳴き声に驚き小走りになった際、通路上の段差に躓き転倒し、小指を骨折した。	55	100 ~ 299
3	13~14	試合前の練習の様子を取材しようとピッチ内で三脚を持ちながら移動していた際に、段差に気づかず転倒し、左足アキレス腱を断裂した。	29	100 ~ 299
3	14~15	集荷作業中、集荷物を台車に載せ、重かったためスロープを後ろ向きに下っていたとき、急角度のスロープで雨も降っていたため足を滑らせ転倒し、台車が20メートルほど滑落した。スロープ下に駐車していた車と衝突して止まったが、その際に車と台車に挟まれ、体を強く打った。	45	100 ~ 299
		配達中、砂利道にバイクを置いてポストに向かっていくとき、両足がつまずき前方		500

3	12~13	に転倒し、左膝を地面に打ちつけてしまった。	56	~
				999
3	15~16	配達後バイクに戻る途中の下り坂で、振り返った時に着地がうまくできずに足首を捻り、ひっくり返った。	0	50 ~ 99
3	15~16	自動二輪にて配達中にバイクから降車し、配達先に投函後、バイクに戻ろうとした際に玄関前で滑って転倒する。当日は雨が降っており、滑りやすい状況であった。	39	100 ~ 299
3	10~11	送金したあと、横断歩道を渡ろうとした際、段差につまずき転倒した。	45	100 ~ 299
4	20~21	12kg程度の重い荷物（飲料）を配達するため階段を一步上った瞬間に、お客様から急に声をかけられ、階段を下りるよう指示があったためすぐに下りようと右足を踏み出した際、捻った状態で着地し、そのまま転倒し負傷した（右足関節外側靭帯断裂）。	43	300 ~ 499
4	13~14	タワーマンションメール室前通路にて、通常郵便物の入った袋を両手に持った状態で徒歩にて配達作業をしていた。床に段差は無く滑り易い路面では無いが、足がもつれて転倒し、右大腿を強打した。そのあと引き続き配達作業をしていたところ、徐々に痛みが増し歩行困難となった。	58	500 ~ 999
4	11~12	通区訓練で移動する際、道路右側に止めていたバイクに乗ろうとサイドスタンドを上げバイクに跨がったが、道路が右に傾斜していたため、バランスを失い、右側に転倒し、縁石に右肩を打ち鎖骨を骨折した。	59	100 ~ 299
5	16~17	地下駐車場にて、集配事務室に戻るためケースを両手に持ち、駐車スペースを横切ったところ、輪止めに躓き転倒し、右手首を捻挫した。	33	300 ~ 499
5	12~13	被災者は、配達先に配達物を届ける為徒歩で入口に入ったところフロアマットに躓き転倒し、右胸部を負傷した。	61	100 ~

				299
5	16~ 17	平地の民家が建ち並ぶ住宅街で配達を行っている際に、側溝に設置してあるグレーチングの隙間に気付かず足がはまって落ちて、足首靭帯損傷を負った。	56	300 ~ 499
6	11~ 12	発着口にて集荷終了後、軽四輪車のバックドアを閉めて、運転席に戻ろうとした時に転倒した際、左手から地面に手をつき体重を支えたため、左手首を負傷した。 地面はコンクリートで、特に障害物等はない。	38	500 ~ 999
6	16~ 17	お客様宅へ配達をし、バイクに戻ろうとした時に、お客様宅門の前にあったマットに右足をとられ尻もちをついた。その際に腰に強い力がかかり、第十二胸骨を圧迫骨折した。	42	100 ~ 299
6	10~ 11	配達のため機動車を停止させ、キャリアボックスから配達物を取り出そうとしたところ、直前に配達したお客さま宛の配達物をお渡ししていないことに気が付き、配達物を手に持ってお客さま宅に戻ろうとした。雨に濡れて滑りやすくなっている退避駐車スペースを小走りで横切った際、足が滑って転倒し、配達物を手に持っていたため受け身がとれず、背中から着地し、緊急搬送された。	46	500 ~ 999
7	11~12	配達先にて段差のあるアプローチ部分（アスファルト）から左足を踏み外した。その時、痛みはあったが配達を続け、翌日、出勤後に痛みが酷くなった。	19	500 ~ 999
7	16~17	郵便物配達のため、配達先敷地内の郵便受け箱へ徒歩で向かう途中、駐車場内の車止めに気がつかずつまずき転倒した。転倒した際、路面で左膝を強打し負傷した。	46	100 ~ 299
7	12~13	左折時に、路面のコンクリート部分がひび割れていることに気づかず前輪でコンクリート部分を踏んだところ、コンクリートが捲れ上がり、エンジン部分に引っ掛かり車両がロックした。ロックした反動で右前方に転倒し右足がバイクの下敷きになり、右腓骨遠位端を骨折。	58	100 ~ 299
7	11~	ケーブルテレビの屋内配線作業中、工事宅と一段高い敷地（高低差1.5m程度）にある隣家との間の隣家側敷地境界にある石垣の上を歩きながら、工事宅の雨樋沿い	54	10 ~

	12	にケーブル配線を行っていたとき、石垣の上から足を踏み外し、工事宅敷地内の地面へ臀部から転落した。		29
7	20～ 21	お客さま宅へ荷物を配達するため、道路へ軽四輪車を止め、荷物を持ち徒歩で玄関へ向う途中、段差に躓き転倒し負傷した。	62	300 ～ 499
9	14～ 15	配達を終え、お客様宅玄関階段の最後一段を下りた時、着地時に左足を砂利にとられ強くひねってしまった。	59	300 ～ 499
9	17～ 18	二輪車で配達中、林道の下り坂を走行した際、路面が砂利からコンクリート舗装に切り替わるところでバランスを崩し、道路の右側に二輪車が寄っていた。危険を感じブレーキをかけたところ、道路右端の路面には落ち葉や砂利があったため後輪がロックし、左側に転倒した。	52	100 ～ 299
9	19～ 20	ゆうパックの配達作業に従事中、配達を終え徒歩で車両に戻る際に、通路の段差につまずき転倒し右肩を負傷したもの。	60	300 ～ 499
9	13～ 14	屋外設置の簡易トイレから出ようとして、右足で段差を踏み外し、バランスを崩して、右膝をついた時に右足甲の右側面を負傷した。	43	30 ～ 49
10	13～ 14	お客さま宅郵便受箱へ配達を終え、二輪車へ戻ろうとしたところ、段差に気づかず足をとられてバランスを崩した。その際、強く踏ん張った時に右足じん帯を負傷した。	43	300 ～ 499
10	11～ 12	社員はおお客様宅に小包を配達し、車に戻る途中、配達証を確認しながら歩いていたので、足元の溝に気付かず足をとられ転倒した。	57	300 ～ 499
10	19～ 20	配達先のアパートから階段を下りて自らのバイクに戻る際、前のめりで転倒し、右足くるぶしの靭帯を損傷した。ヘルメットにライトを装着していたが、周囲は暗く、足元が見えていなかった。	27	500 ～ 999

10	9~ 10	郵便局の2階から1階へ階段を小走りに下りてきて、左に曲がろうとしたところ、清掃員がモップで床を清掃中のため、階段の右側から行こうと体を回転させた時に、軸足にした左足が濡れた床で滑り、足首を捻りながら転倒した。	50 ~ 99
10	11~ 12	バイクを止め、徒歩で配達先へ訪問し配達を済ませた後、バイクに戻るため50cm程度の段差を飛び下りたところ、雨天のため着地面足場が悪く、膝を捻った。	300 31 ~ 499
11	12~ 13	被災者はお昼休憩のため、配達先から帰局し地下駐輪場へ自転車を止めた。自転車から降りようと自転車にまたがった状態から右足を床についた時、床に付着していた汚れに足を滑らせ膝を捻った。	100 39 ~ 299
11	16~ 17	配達後戻る際に路面の段差に躓き左足首を捻って負傷した。	300 25 ~ 499
11	16~ 17	外務事務に従事中、荷物の配達のため、お客様宅前に軽四輪車を止め、玄関先へ向かう際、足場がぬかるんでいたため足をとられ転倒した。転倒した際、地面に右膝を強打した。痛みはあったがその日は病院へ行かず、翌日になっても痛みがあったため、後日病院を受診したものである。	100 37 ~ 299
12	8~9	始業時の体操をしている時、意識がなくなり、前へ倒れて床に顎を強打し、顎に裂傷、歯に欠損を負った。抜糸後、歯のレントゲンを撮った時、顎の骨にヒビが入っている事がわかった。	300 52 ~ 499
12	15~16	配達業務に従事中、配達先アパート入口付近において、高さ20cm程度の段差につまずき、そのまま前方に膝から転倒した。両膝ともに負傷したが、特に右膝の負傷が大きく、翌日に整形外科を受診し、当面1ヶ月程度の局所安静及び病院加療を要する見込みである。	100 52 ~ 299
12	12~13	配達先への配達を終え、徒歩にて下り道を下っていた際、足を滑らせ転倒し、右膝を強打した。大したことはないだろうと判断しそのまま業務を続けたが、腫れと痛みが引かず、骨折していた。	100 63 ~ 299
		客宅の敷地周辺に張ってあった網に、暗やみのため足を引っかけて、コンクリート	100

12	18~19	の地面に膝から転倒して負傷した。	60	~
				299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html